

スポーツ産業論Ⅰ

科目ナンバリング SPS-110
選択必修 2単位

片上 千恵

1. 授業の概要(ねらい)

2020年のコロナ感染の拡大はスポーツ界にも大きな打撃を与えた一方で、デジタルトランスフォーメーション(DX)の加速度的な進化は観戦スタイルやスポンサーシップ、スタジアムやアリーナの活用の仕方に変化をもたらし、スポーツビジネスの新たな可能性を示唆しました。本授業では、わが国のスポーツビジネス界で起こっている現象を事例として掲げ、その中で当てはまるビジネス・マネジメントの理論やフレームワークを学ぶことでスポーツビジネスの全体像を把握していくことを目的とします。

2. 授業の到達目標

- ・我が国のスポーツビジネスにおける市場規模やその実情を把握し、社会的な価値や課題を説明できる。
- ・日本のスポーツを深く知ることで、学生自らが今後、スポーツビジネスとどう関わっていくのか方向性を定めることができる。

3. 成績評価の方法および基準

期末テスト 100点

4. 教科書・参考文献

教科書

原田宗彦(編) 『スポーツ産業論第6版』(2015) 杏林書院:東京

5. 準備学修の内容

- ・日頃からスポーツのニュースや話題に敏感になっておくこと。
- ・授業で取り上げた内容やキーワードを復習すること。

6. その他履修上の注意事項

「スポーツビジネス概論Ⅱ」をあわせて履修することが望ましい。

7. 授業内容

- | | |
|--------|--------------------------------------|
| 【第1回】 | ガイダンス及びスポーツビジネス概説 |
| 【第2回】 | スポーツ市場の現状
スポーツ産業・市場 |
| 【第3回】 | スポーツ用品ビジネス
スポーツメーカー・ブランド |
| 【第4回】 | スポーツ施設ビジネス
スタジアム・指定管理者制度・ネーミングライツ |
| 【第5回】 | スポーツとメディアビジネス
スポンサーシップ・放映権 |
| 【第6回】 | スポーツと健康ビジネス
フィットネス産業・参加型スポーツイベント |
| 【第7回】 | 外部講師:球団関係者 |
| 【第8回】 | 中間テストと前半まとめ |
| 【第9回】 | スポーツ広報・プロモーション
PR広報・宣伝・SNS |
| 【第10回】 | スポンサーシップ
効果測定・CSR |
| 【第11回】 | スポーツ・ツーリズム
観光・スポーツコミッション・地域活性化 |
| 【第12回】 | 障がい者スポーツ
アダプテッドスポーツ・パラリンピック |
| 【第13回】 | スポーツとテクノロジー
データ活用・VR・AR |
| 【第14回】 | 外部講師:リーグ関係者 |
| 【第15回】 | まとめとテスト対策 |